市立輪島病院　広報誌
ふれあい通信

第１４巻 第１号
平成30年8月1日

たっしゃかいね

「ぼくの、わたしのおかあさんはかんごしさん」似顔絵コーナー（看護の日　５月１２日）

基本理念

「心の通う医療サービスの提供」

地域の中核病院として、行政機関、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守るため、多様化する医療需要に対応できる医療環境の整備を図り、医療を受ける人の立場での診療や看護につとめることを基本とする。

基本方針

１．救急や災害医療等、地域に必要とされる医療を提供し、住民の健康の維持・増進に努めます。
２．医療従事者の教育・研修等、職員の不断の研鑽により、質の高い医療の提供と地域の医療水準の向上に努めます。
３．患者の権利と尊厳を尊重し、思いやりの心で気持ちのよい接遇に努め患者中心の医療を推進します。
４．安心して医療を受けられる環境を整備すると共に、職員の教育を徹底し、より安全な医療の提供に努めます。
５．公共性を確保し、合理的かつ効率的な病院経営に努め、健全で自立した経営基盤を確保します。

目　次

新任医師紹介、病棟紹介・・・２頁
院内外活動☆ニュース・・・３頁
授賞式、寄附・・・４頁

新任医師の紹介

7月から当院に新しく赴任した医師を紹介します。

小児科医長　小浦　詩（こうら　うた）

一　言　　７月から市立輪島病院で勤務することになりました小児科の小浦です。産婦人科研修もさせていただき、これからの輪島の周産期医療に貢献できるよう頑張ります。
どうぞよろしくお願い致します。

外来担当　　毎週水曜日（小児科）

前任病院　　公立穴水総合病院

病棟紹介　３階東（療養）病棟

当院の療養病棟は医療療養病床で、病床数は48床です。ここでは、医療依存度が高く長期間の療養が必要な患者さんが多く入院されています。

療養病棟の存在は、急性期の治療を終えた患者さんの療養環境として、地域にとってとても重要な役割を果たしているという考えのもと、患者さんに対し、心の通う手厚い看護・介護の提供に努めています。

療養病棟スタッフ

歯科衛生士による口腔ケア

特に、入院が長くなると、患者さんの中には、食事が唯一の楽しみであるという方も多くなります。食事の場所は、気分転換も兼ねて、病棟内の食堂で食事ができるよう支援しています。また、口腔ケアについては、歯科衛生士と連携し、専門的で丁寧なケアをこころがけています。

病院での長期療養中であっても、患者さんが時々みせてくれる笑顔や感謝の言葉をはげみにスタッフも笑顔でのケアに努めたいと思っています。

３階東病棟師長　中谷　眞理子

院内外活動 ★ ニュース

新人看護職員研修（５月８日）

平成３０年度は、７名の新人看護師が新たな仲間として加わりました。
地域の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

ふれあい看護体験（５月１０日）

門前高校と穴水高校から各２名の合計４名が「ふれあい看護体験」に参加し、入院患者の髪を乾かしたり、血圧や体温測定などを体験しました。体験後に「患者さんへの声掛けの大切さを学び、いい経験になりました」と話してくれました。数年後、当院で仲間として一緒に働くことができることを期待しています。

看護職と看護学生のための就職情報交換会（５月26日）

「看護職と看護学生のための就職情報交換会」に出展し、看護学生等に当院を紹介しました。
今年は４４名（昨年２８名）の方が当院のブースを訪れ、熱心に話を聞いてくれました。将来について考える良い機会となったようであれば幸いです。

防火訓練（６月１５日）

３階東病棟湯沸室で火災が発生した想定で訓練を実施しました。各部署では避難患者役に扮した職員を看護師がエアーストレッチャーで搬送し、本番さながらの訓練でした。また、消火器を使用した初期消火訓練、救助袋の降下体験も実施しました。

ソフトバレーボール大会（６月23日）

６月２３日（土）、一本松総合運動公園体育館サン・アリーナで職員親睦ソフトバレーボール大会を行いました。夜勤明けの職員もいて、仕事のお疲れのところ２７名の参加を得て大盛況のなかで試合ができました。勢いよくレシーブをしてホームランを出す人など、珍プレーが続出し、笑顔は絶えることなく大会は大いに盛り上がりました。今回もケガ人は出ず、みんなで楽しむことができました。

看護職のワーク･ライフ･バランス（WLB）推進「カンゴサウルス賞」授賞しました。

５月２３日（水）公益社団法人日本看護協会による第６回看護職のＷＬＢ推進カンゴザウルス賞の授賞式が開催されました。

「看護職のＷＬＢ推進ワークショップ」事業に参加し、３年間継続してＷＬＢ推進による働き続けられる職場づくりに取り組んだ医療施設として授賞しました。

当院は、ＷＬＢの普及によって、離職率の低下や人材の定着等につながると考えています。今後も、看護部だけでなく病院全体の職員と共にＷＬＢ推進活動を継続していきます。

ご寄附いただきました。

平成３０年３月９日（金）に前田忠之様からロムーバー（空圧式関節可動域改善装置）のご寄附をいただきました。
手指の痙性麻痺等を予防・改善するための治療器です。大切に使わせていただきます。

平成３０年３月３０日（金）に故・東福要平先生の奥様の東福和子様から寄附金をいただき、外来ロビーチェア４人用３脚、３人用２２脚、２人用１脚を購入させていただきました。外来の待合のソファーが新しくなり、明るい雰囲気になりました。大切に使わせていただきます。

編集後記

真夏の日差しがぎらぎらと照りつける日が続いております。今年の夏は、子供とプールや海に行き、暑さを吹き飛ばそうと思います。厳しい暑さが続いておりますが、体調には気を付けて皆様お過ごしください。今後も当院のことをもっと知っていただけるように、広報誌を通じて発信してまいります。

編集：市立輪島病院　広報厚生委員会　広報誌担当

Municipal Wajima hospital
市立輪島病院
〒928-8585　石川県輪島市山岸は1番1地
TEL 0768-22-2222　FAX 0768-23-0634
e-mai　byouin@city.wajima.lg.jp